

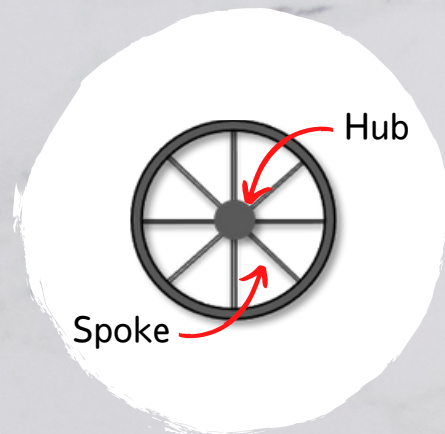
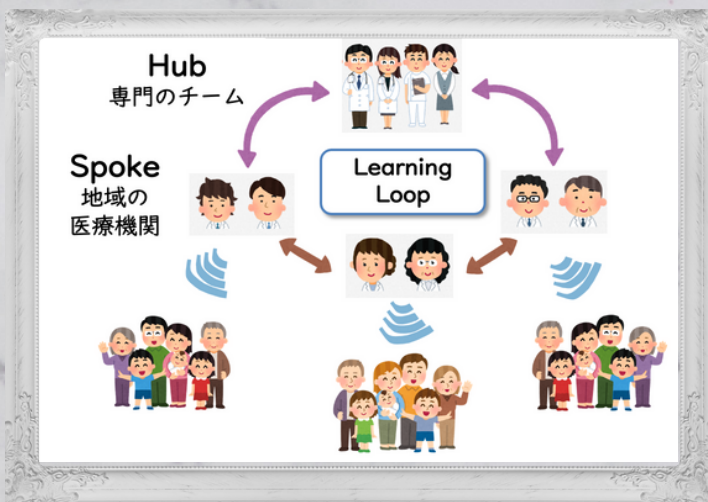
Project ECHO Autism Japan

Project ECHO Autism について

医療等の資源の少ない地域では、よりよい介入や支援を受けるためには遠方の専門機関に通うか、適した介入や支援があっても諦めるか、という二者択一の選択を迫られることがあります。Project ECHO は、そのような状況を改善するため、米国ニューメキシコ州の医師によって始められた、インターネットを活用し、ハブ & スポークモデル（車輪のハブとスポークに例え、軸を広げながら人材を育成する戦略）でエキスパートを養成するシステムです。的確な情報や知識と技術をローカルエキスパートに提供することで、質の高い介入と支援を、住む場所や貧富の格差に関わらず、手の届くものとするを目的としています。

米国では2014年にECHO Act という連邦法により、全米全州で、あらゆる医療領域の現任トレーニング法として拡充されることになり、今では全世界でそのノウハウが共有されています。

Project ECHO Autism は、ECHO Project の発展のなかで、ミズーリ大学で開発されました。TEACCH® 自閉症プログラムも参入し、ローカルエキスパートにASD の診断・介入、支援についてのトレーニングを提供し、その地域がASDにフレンドリーなコミュニティとして発展することに寄与しています。



Project ECHO Autism Japan の目的

TEACCH®公認専門職から構成される多面的領域のチーム（ハブ）が、地域臨床に携わる臨床家、支援者（スポーク）をガイドしたりメンタリングしたりすることで、自閉症のある人とその家族が、どの地域に住んでも、最良の介入、支援を享受すること、地域格差が減っていくことを目指しています。

プレゼンテーションと事例のコンサルテーションでは、TEACCH®アプローチを共通言語とし、TEACCH®自閉症プログラムの持つノウハウや、知識と技術を生かします。

Project ECHO Autism Japan ハブチームの構成

TEACCH®公認専門職ネットワーク協会（AC, Pレベル）	プログラムリエゾン（心理領域・行動介入）：服巻智子（AC）
チェア（医療・福祉領域）：岡田祐輔（AC）	福祉領域：小林公平（P） 西尾大輔（AC） 片山智博（P）
心理領域：新澤伸子（AC） 諏訪利明（AC）	医学領域：高木一江（P） 佐川陽子（P）
教育領域：重松孝治（AC） 弓削香織（P）	

（ミニレクチャーには、随時、ゲスト講師をお招きします）



2023年



1. 募集：2023年10月8日（日）まで

- ・対象：地域の医療機関に所属する、医師、心理士、その他のコメディカルスタッフ
- ・定員：正規参加者（事例提示）：1団体あたり1回5名まで（最大5団体）
 陪席参加者：1団体あたり1回3名まで（最大5団体）
 ＊同一団体内での参加者の交代可
- ・申込み方法：TEACCH公認専門職ネットワーク協会HP内の
[申込みフォーム](#) から（参加決定はメールで通知します）



2. 実施期間・日時：2023年10月～2024年2月までの5か月間

- ・月1回 木曜日（10月26日、11月23日、12月21日、1月25日、2月22日）
- ・21:00～22:30（90分）

3. 参加費用（5回分）：参加決定後に、振込先をお知らせします。

- ・正規参加者：1団体 35,000円（1回5名まで）（事例に対する「推奨事項」提供込）
- ・陪席参加者：1団体 18,000円（1回3名まで）

4. 参加方法：Zoom（録画配信は行いませんので、Liveでご参加ください）

5. テーマ：ASDの人の「行動の問題」に関すること ＊年齢層は乳幼児から成人まで

- ・事例提示を毎回、正規参加団体1名から実施
- ・質疑応答とハブチームからの情報提供、推奨事項の解説（後日書面で提供）
- ・ASDに関連するミニレクチャー（毎回20分程度）

6. その他

- ・症例は指定のフォームに記入し、知りたい情報について明記してください。
 （個人情報保護のため、個人を特定する内容は削除してください）
- ・指定のDropboxに各回の資料をアップロードします。参加者は、事前の確認をお願いします。
- ・個人情報に関する誓約書（事前に提出）およびアンケート（開始前、5回終了後）にご協力ください。

2023年度 ミニレクチャー（予定）

11月23日	ASDの就労支援	早稲田大学 梅永雄二先生
12月21日	強度行動障害に関すること	肥前精神医療センター 會田千重先生
1月25日	ASDの感覚の特性	長崎大学 岩永竜一郎先生

その他（昨年までの内容）

- | | |
|---------------|-----------------------|
| ・問題行動への対応 | ・TEACCHアプローチとECHO |
| ・社会的コミュニケーション | ・Structured TEACCHing |
| ・薬物療法の情報 | ・教育機関との連携 |
| ・福祉サービス | |

※ 内容を一部変更する場合があります